

MI_2307 : センサーモジュール - 取り外しと取り付け



iVario Pro 2-S P / L P / XL P



30分



標準 / 接点グリースCG60



2023年04月03日

テーマ

この情報は、センサーモジュールの設置について説明しています。

対象となる製品/アクセサリー

iVario Pro 2-S P

iVario Pro L P

iVario Pro XL P

必要な工具

標準

接点グリースCG60

必要となるコンポーネント

	センサーモジュール左	センサーモジュール右
iVario Pro 2-S P	87.01.975S (05/2023まで) 87.01.989S (05/2023以後)	87.01.976S (05/2023まで) 87.01.990S (05/2023以後)
iVario Pro L P	87.01.975S (05/2023まで) 87.01.989S (05/2023以後)	-
iVario Pro XL P	87.01.975S (05/2023まで) 87.01.989S (05/2023以後)	-

一般情報

注記

コンポーネントの取り付けをサービスレベルに記入します（タブ「コンポーネントの交換」）。これはメンテナンス履歴の一部です。

ターゲットグループ

- 本書は、トレーニングコースおよび安全に関する指導を受け、メーカーから認定と研修を受けた技術者を対象としています。
- 設置、検査、メンテナンスおよび修理作業は、規定のトレーニングを受けた技術者のみが実施できます。

- 点検、メンテナンス、修理は、メーカーから認定された技術者だけが行うことをお勧めします。
- お子様はユニットを使用、洗浄、メンテナンスすることはできません。ユニットは、遊ぶために使用しないでください。これは、監視のもとであっても許可されません。
- 身体的、視聴覚的、あるいは精神的な障害のある人、または経験あるいは知識が不十分な人は、ユニットを使用、洗浄、メンテナンスすることはできません。ただし、このグループの人々が、安全に関する責任者によって監督され、この装置の危険性を認識させられている場合は、この限りではありません。
- 事故の危険や物的損害を防止するため、メーカーは技術者が定期的にトレーニングや安全説明会に参加することを推奨しています。

安全上の指示

⚠ 危険

高圧電源に接続する場合

高電圧を扱う際には人命の危険が生じるおそれがあります。

- 電源との接続を切ってください。
- ユニットに通電されていないことを確認してください。

⚠ ご注意

機器本体ハウジングのバリ

電装部内の作業の際にカバー等にて指の怪我の恐れ
保護グローブを使用してください。

注記

地域および国ごとの安全・試験規定を遵守してください

RATIONALのユニットに関する全ての作業には、それぞれの地域、国別の安全および試験規定が適用されます。これらの規制は地域によって異なる場合があり、国ごとに異なるため、本書では個別に記載していません。

技術者は、これらの規則を遵守する責任があります。

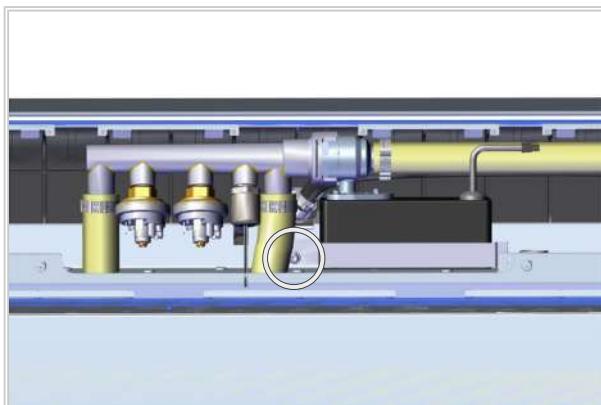
修正ログ

この説明書の前バージョンの変更事項：

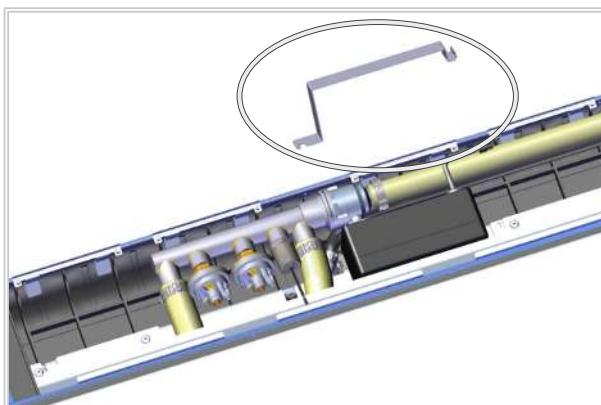
- 必要な道具：接点グリースCG60を追加。
- 行動手順に接点グリースを追加。
- 必要なコンポーネント：2023年05月以降の新しい番号を追加。
- 各種用語をサービスパーソンカタログに合わせて調整。

作業手順

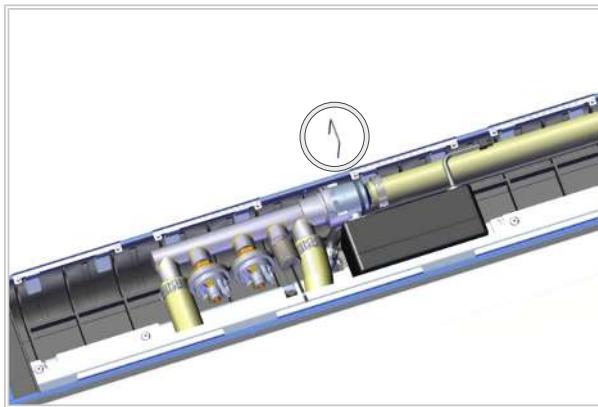
- ✓ ユニットが通電されていない状態になっています。
- ✓ カバーのメンテナンスフラップが取り外されています。
- 1. 圧力センサーと両方の圧力スイッチのプラグを外します。
- 2. 圧力制御弁のフランジ部分を固定しているねじを緩めます。



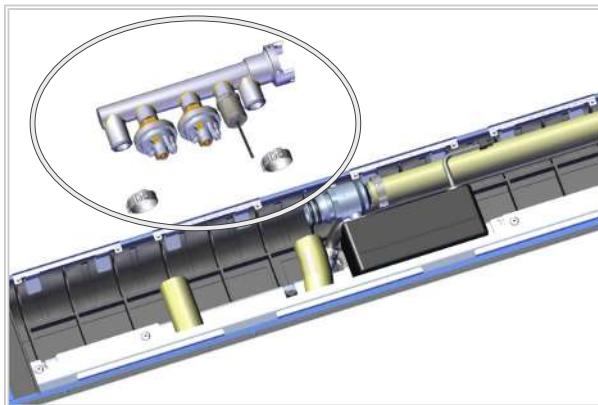
3. 圧力制御弁からフランジ部分を取り外します。



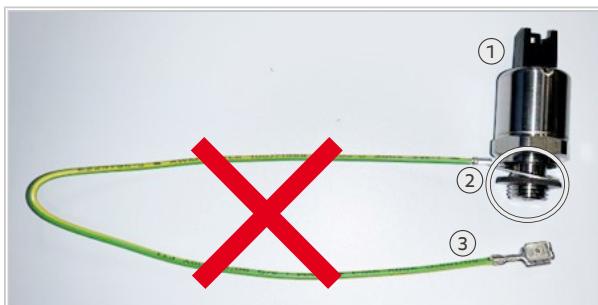
4. センサーモジュール固定用のクリップを取り外します。



5. ホースクランプを緩め、センサーモジュールを取り外します。



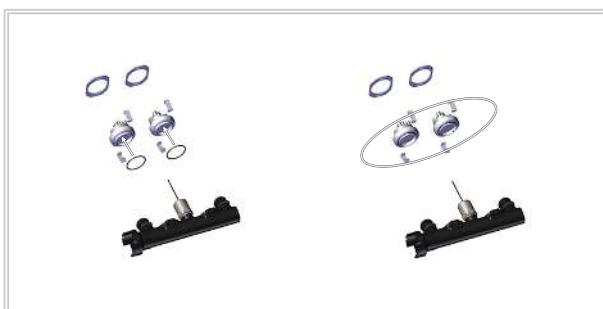
6. 新しいセンサーモジュールを前に取り付けます。
その際、古いセンサーモジュールの圧力センサー（1）のみ使用可能な
ことに注意してください。
7. 接地ケーブル（3）がある場合、圧力センサーから取り外します。
8. フラットガスケット（2）を再び取り付けます。



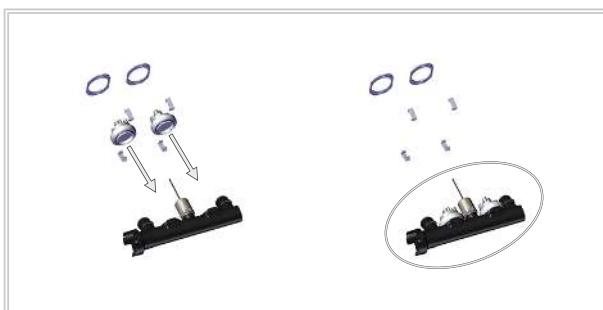
9. 圧力センサーをねじで固定します。



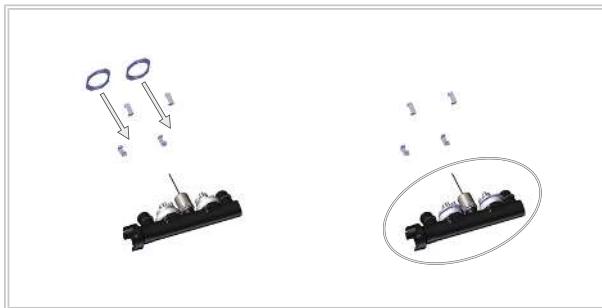
10. 新しい圧力スイッチ (20 mbarと350 mbar) に新しいシールを取り付けます。



11. 圧力スイッチをセンサーモジュールに取り付けます。



12. サポートプレートを圧力スイッチに取り付けます。



13. 圧力スイッチをクリップで固定します。

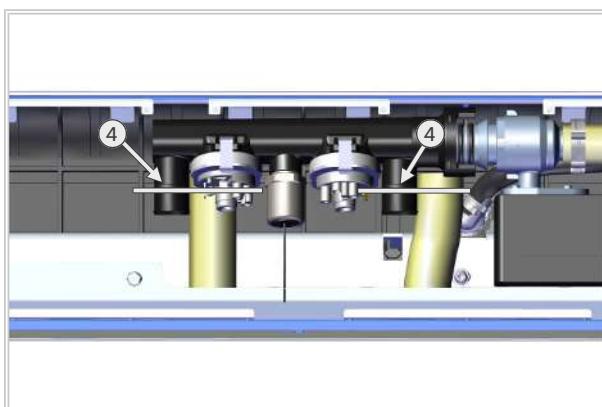


14. センサーモジュールがカバーの裏側に触れないように配置します。

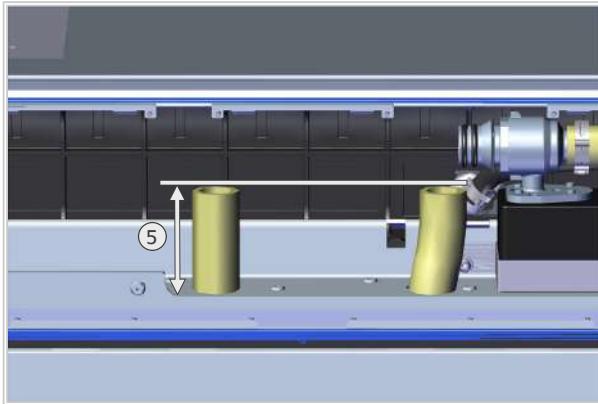
注！ 古いユニットの場合、ホース長さを調整する必要があります。切断前に、必要最小長さ65mmを必ず確認してください！

15. 可能であれば、図のようにホースをセンサーモジュールのホース接続部と平行に配置します。

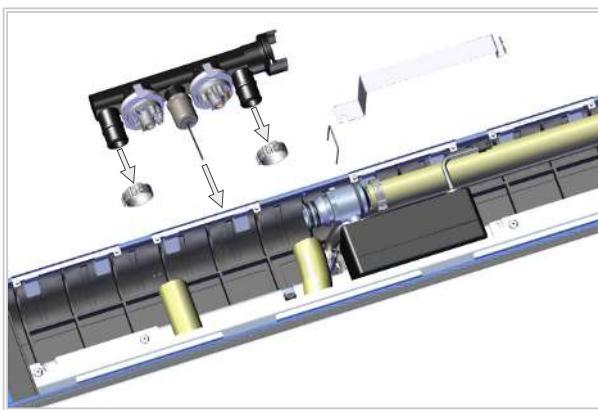
16. センサーモジュール (4) のストッパーと同じ位置にホースをマークします。



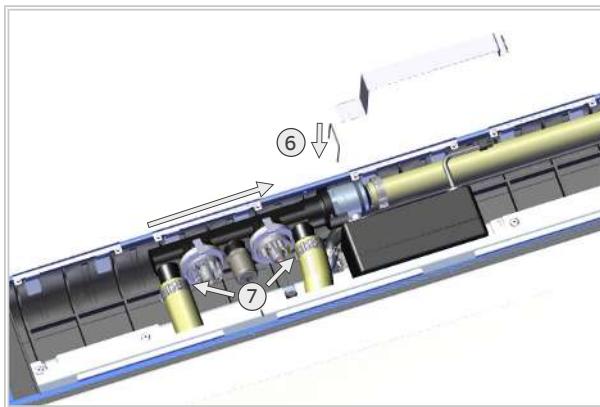
17. 必要な場合、ホースをセットされたマークで切断します。
少なくとも 65 mm (5) のホースが残っていなければなりません。



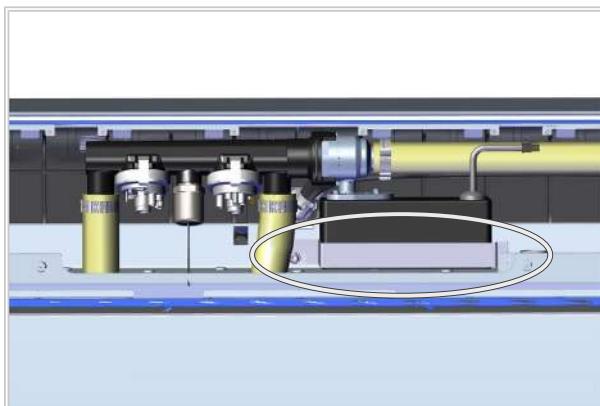
18. ホースにホースクランプを取り付けます。
19. センサーモジュールをホースに入るところまで押し込みます。



20. センサーモジュールを圧力制御弁に取り付けます。クランプ (6) で口
々クし、2つのホースクランプ (7) を締めます。



21. 圧力制御弁のフランジ部分を取り付けます。



22. 全ての電気接続部に接点グリースを塗布します。

注！ 全ての露出した接点部分が接点グリースで保護されていることを確認
します。

23. 圧力スイッチと圧力センサーのプラグを再接続します。

24. 機能テストを実行します。

> センサーモジュールの取り付けが完了しました。

